



# 別所中だより

令和8年6月22日 6月号 - ②

八王子市立別所中学校

八王子市別所2-28

Tel 042-676-6635

～ 別中生のみなさんへ あなたは「投資」ですか? 「浪費」ですか? ～

副校長 秋山 雅之

別中生徒のみなさん! 定期テストお疲れさまでした!!

これから答案が返ってくることは思うのですが、やってみた結果はいかがでしたでしょうか?

きっと、4つのパターンの子がいることでしょう。

- (1) 努力して、満足いくできだった子
- (2) 努力したけど、結果がふるわなかった子
- (3) 努力せず、満足いくできだった子
- (4) 努力せず、結果がふるわなかった子

今回は、君たちにおけて努力にまつわる数字を紹介します。

それは「100」です。

例えば、右図のように努力を 毎日、毎日積み重ねるとします。

少しずつ少しずつ、毎日、毎日、休まずに努力を積み重ねます。

けれども、成長曲線は、まだまだ、上の方には上がってきません。

さらに、毎日努力を積み重ねます。

けれどもまだ、成長は目に見えてはきません。

50日努力しても、まだ、成長は目に見えてはきません。

成長が目に見えてこないで、この辺りになると、多くの人間は諦めがちになります。

ここで、諦めずに努力できるか否かがポイントなのです。

人が諦めがちになる時もめげずに、努力を重ねていくと突然、この曲線のように、急に努力の線を成長曲線が追い越して自分の目に見えてくるようになります。

それが、ちょうどこの100日の辺りです。

このように、何事も100日努力するとよい結果が出やすくなります。

100日までは、努力が自分の体の中に蓄えられるのです。

そして、100日たった頃に、蓄えられた努力が、風船が破裂するように爆発して、自分にも人にも見えるようになるのです。

テレビでも活躍されているカリスマ塾講師の林修先生は「正しい場所で、正しい方向で、十分なされた努力は裏切らない」とおっしゃっていました。

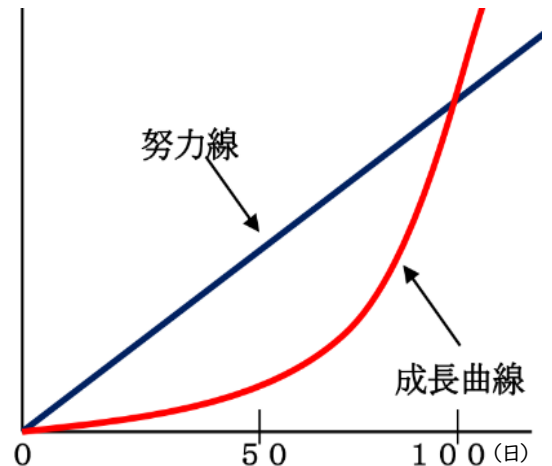
きっとあなたが頑張っている分野でも、今回の定期テストでもそれはきっと同じことです。

ちなみに、あなたはやりたいこととやるべきことの分別が付けられる人ですか?

人が見ていないところでも、誰かと自分を比べることなく努力を続けられますか?

君たちの中でも、日々の生活から様々な方向性で努力を重ねている人を見ていると、大人でありながら、こちらも見習わなくてはという気持ちにさせられます。

思春期真っ只中の子もいるかもしれませんが、君たちが一生懸命努力している姿って、実はそれだけで「負けられない!」と身近な家族や大人たちに元気と勇気を与えているものです。



まだまだ、様々な方向性の努力をしながら、正しい努力の方向性をさぐっているのかもしれませんが、でも、学習も行事も部活動も「何ができたか」より「どうやったか」の方が社会的な学びは大きなものです。

今回、**努力して結果が出たみなさん**、頑張る力をもう手にしている君は素敵です。人と比べず、過信せず、よりよい努力の方向性を探ってください。

今回、**努力したけど結果がふるわなかったみなさん**、頑張る力があるのはまずよいことです。勉強(でもなんでも)の正しい努力の仕方がわからなければ、先生でも親でも友達でも、それが上手な人に聞くのがおすすめです!「まなぶ」の語源は「まねぶ」です。「まねる」ことは、古くから伝わる効果的な学習方法なのです。試してみてください。

今回、**努力せずとも結果が出たみなさん**、君たちが一番心配です。人生だろうが受験だろうが勝ち負けがあるとしたら、負ける人の特徴は「情報不足・慢心・思い込み」が原因なのだそうです。それだけ実力があるなら、さらに努力を重ねればより良い結果になったことでしょう。無駄な自信を、過信や慢心という化物にさせないように兜の緒を締め直してください。

今回、**努力せずに結果が出なかったみなさん**、当たり前です。相応の結果です。あまり勉強に興味のない人なのかもしれません。しかし、興味のあることしか頑張れないようではまだまだです。なぜなら多くの人にとって、勉強は、あなた自身が「やりたいこと」なのですから。

こんなことを言ったら君たちは、「そんなわけないでしょ」と思うことでしょう(笑)

でも、我々大人は知っています。人によって時期は異なりますが、定期テストの終わりがたて?中学生?高校生?受験?就職?どのタイミングかはわかりませんが、人によっては、「あの時やっておけばよかった!!」と思う瞬間があるということ!

私自身も過去を振り返ると、定期考査終了後はいつもこのような状態でした(苦笑)

そう考えるとどうでしょう?

今、熱心に勉強や宿題に取り組むことって、巡り巡って「未来の自分からしたら『やりたいこと』になる」...ということにもなりませんか?

もちろん全てのことがそうなることはないかもしれませんが、考えてみてください。

目の前の課題や、宿題に一生懸命取り組むまでに、「ああ、嫌だなあ」と思うことはあっても、終わった後まで「やらなければよかった。」ということは、ほとんどありません。

終えた後には、小さな達成感と言いますか、爽快感があるものです。

君たちには是非そういう気持ちをたくさん味わってほしいと思っています。

「やりたいこと」もきちんと大切にしながら、やるべき事にも向き合うことで、「時間を『浪費』していた自分」から「時間を未来に『投資』する自分」になっていくことができるはずですよ。

まだまだ重たい気持ちで勉強をしている子は、勉強という道具を使って『逃げない自分』を育ててほしいです。

もうそのレベルを超えている子は、学ぶ喜びを味わうために、どんどん頑張ってもらいたいと思います。

今回は学習を例に挙げましたが、学習でもなんでも同じです。同じ課題(や練習など)をやるのでも、よく考えて一生懸命臨んでいる人と、仕方なくやってくる人の違いは、見ればよくわかります。

一生懸命やっていることは、すべて未来への「投資」に変わります。

惰性でやっていることは、ただの時間の「浪費」に過ぎません。

さあみなさん、あなたが机に向かっている時間や部活動などに費やしている時間は「投資」ですか? 「浪費」ですか? 「素敵な時間の使い方をマスターしよう!」と未来のあなたが言っていますよ(^o^)/